

市民説明会でいただいたご質問・ご意見とその回答を一部紹介します。

Q.1

**市民病院の移転や
指定管理者制度導入は決定済みか。**

A.1

今の市民病院は建物も大きく、また老朽化しており、このまま維持していくことは難しいと考えています。新病院は文化会館敷地へ移転したい。経営形態についても、指定管理者制度を導入することで、持続可能な病院として、東播磨圏域での役割を果たしていきたいと考えています。

Q.2

**病院運営の今後の方向性は?
高砂こども療育支援センターは
ぜひ残してほしい。**

A.2

高砂こども療育支援センターを含めて現在の診療科目は維持する方針です。また、診療機能に関しては「急性期・回復期・終末期」の3機能に併せて紹介状がなくとも受診できる環境は維持したいと考えています。

高砂こども療育支援センターの
詳細は[こちら](#)

**Q.3**

**コロナ流行時に
市民病院は対応してくれた。
このような政策的医療を継続できるのか。**

A.3

公募していく手続きの中で募集要項などに明記し、また、協定を結ぶ際にも相手方に政策的医療の実施は求めていきたいと考えています。

Q.4

**以前、救急をお願いしたが
市民病院に断られ、他院で診てもらった。
そのような病院に138億円もかけて
新病院建設することは反対。**

A.4

市民病院で対応できなかった点については大変申し訳なく思います。医師不足で救急対応に課題を抱えています。

Q.5

指定管理の期間はどの程度を考えているのか。

A.5

期間は他の事例を参考にしながら設定していきます。現段階では、例えば20年間やそれ以上の期間で、安定的に運営していきたいという想いは持っています。

Q.6

**指定管理者制度を導入している
先進事例を紹介してほしい。**

A.6

いくつもの病院で改善されている事例は把握をしています。
※ 今後、「高砂市民病院の将来予測の結果による
経営形態」の中で資料を公開する予定です。

Q.7

**指定管理者制度に移行して、
失敗した事例もあると思うが、
どのように捉えているのか。**

A.7

うまくいかなかった事例も情報としては持っています。指定管理者の選定にあたっては外部の有識者にも委員になっていただき、そのような事態にならないよう慎重に指定管理者を選んでいきます。

Q.8

**市民病院は必要ないと思う。
現病院はまだ使用できるし、財源は
インフラや学校の整備に回すべきだと思う。**

A.8

インフラや学校の整備は財政コントロールをしながら進めていきたいと考えています。その上で、私は市長としてコロナ禍を経験し、市民の命と健康を守ることが最優先であると改めて感じました。そのような想いで、私は市民病院を最優先課題として取り組んでいます。

Q.9

**文化会館は大ホール、
東館とともにすべて無くなるのか。**

A.9

文化会館は中ホールのある東館も含めて解体する予定です。申し訳ありませんが空白の期間が生じることになります。文化会館は移転し、文化の継承ができる施設は整えたいと考えています。

次回の第7回は2月号を予定しています。

連載 | 第6回

高砂市民病院の今

市民病院将来構想推進室 ☎079-441-7110 FAX 079-442-2229
✉ tact1340@city.takasago.lg.jp



**「高砂市民病院の将来予測の結果による経営形態(案)」に関する
市民説明会・特別出前講座へのご参加、
パブリックコメントへのご意見、ありがとうございました。**

市民説明会には118人、特別出前講座には5団体、ご参加いただきました。
また、パブリックコメントには9件ご意見をいただきました。

市ホームページでは、市民説明会などで配布した資料のほか、市長による説明動画や市民説明会でいただいた主なご質問・ご意見とその回答を公開しています。



高砂市民病院の将来予測の
結果による経営形態(案)

市長による説明動画

市ホームページページ ID 12636



市民説明会でいただいた
主なご質問・ご意見とその回答

市ホームページページ ID 12637



過去の広報もぜひご覧ください。

広報たかさごでは、高砂市民病院の現状と今後について知りたいための記事を連載しています。

高砂市民病院の今
(過去の記事)

市ホームページページ ID 12548

